

■ 男女平等 日本120位 是正 スピード感必要

スイスの研究機関「世界経済フォーラム」が発表した2021年の男女平等度ランキングで、日本は156か国中120位だった。過去最低だった20年から一つ順位を上げたものの、先進7か国(G7)の中で依然、最下位だ。なぜ下位から脱することができないのか。

ランキングは政治参加、経済活動、教育機会、健康の4分野について、男女平等の度合いを指数化し、順位を表したものだ。完全平等なら指数は1で、女性に不利であるほど0に近づく。

日本は、健康と教育機会が男女格差は小さい。だが日本以上に格差の小さな国は多く、順位は伸び悩んだ。

一方、経済活動は0.604。各国

日本での各分野の男女格差

	順位	指数	世界の平均指数
総合	120	0.656	—
①	147	④	0.218
経済活動	③	0.604	0.583
②	92	0.983	0.950
健康	65	0.973	0.957

の平均を上回ったものの、企業における女性幹部の少なさや、専門職や技術職の男女格差が響いて順位は117位と低迷した。

日本の評価を下げた最大の要因は、政治参加の0.061だ。各国平均は0.218で大きな開きがあり、147位となった。政治参加の指標は、「国会議員(日本では衆院)に占める女性割合」「閣僚に占める女性割合」「過去50年間での女性トップの在任期間」の三つ。衆院議員の女性割合は9.9%(20年2月現在)と低く、女性閣僚は2人だけ。女性の首相は誕生すらしておらず、厳しい状況だ。

ただ、日本も手をこまねているわけではない。18年に「政治分野における男女共同参画推進法」が施行され、政党が候補者に占める女性の割合を増やす努力を始めるなど、機運の高まりはみられる。しかし、諸外国はそれ以上のスピードで、実効性の高い施策を打ち出し、男女格差の是正に動いている。

今回、トップ3を北欧の国々が占めたが、6位にナミビア、7位にル

男女平等度ランキング

1(1)	アイスランド
2(3)	フィンランド
3(2)	ノルウェー
4(6)	ニュージーランド
5(4)	スウェーデン
6(12)	ナミビア
7(9)	ルワンダ
8(33)	リトアニア
9(7)	アイルランド
10(18)	スイス
⋮	
30(53)	米国
102(108)	韓国
107(106)	中国
120(121)	日本

※世界経済フォーラム調べ。()内は前回順位

ワンダがつけ、アフリカ勢が存在感を示した。いずれも、政治分野での女性進出が際立つ。

ルワンダは政治参加が6位、経済活動が48位だった。ルワンダの駐日大使は「大統領が政府の主要ポストに女性を起用し続け、女性の登用を憲法などで明記している成果だ」と説明する。

男女格差の是正にはトップのリーダーシップが不可欠だ。迅速な対応が求められる。

(2021年4月1日 読売新聞朝刊より)

1 上の表の空欄を埋め、表を完成させましょう。

①	②	③	④
---	---	---	---

2 下線部「なぜ下位から脱することができないのか」について、記事は日本と他の国々を比較して答えを示しています。答えが書かれている一文を探し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

3 記事で、ルワンダについて紹介したのはなぜですか。あてはまるものを全て選び、番号を書きましょう。

--	--	--

- ① ランキングで上位を占めた北欧の国よりも、日本と住環境が似ている国の対策を示すため。
- ② 格差是正にはトップのリーダーシップが必要という、筆者の考えのもととなる例を示すため。
- ③ 日本が課題とする分野で成果を上げた国がどのような対策を取ったのか、実例を示すため。
- ④ 先進国である日本が、アフリカの国々と同じような取り組みができない理由を示すため。